

ネモフィラ



学年通信の名前が決まりました。『ネモフィラ』。ネモフィラ全体の花言葉は「どこでも成功」「可憐」「あなたを許す」です。愛らしいイメージのネモフィラですが、強い生命力を持ち、多少の日陰やアスファルトの間でも、ぐんぐん育っていく丈夫な一面も。そんな特徴から「どこでも成長」という花言葉がつけられたそうです。沢山のネモフィラが寄り添って咲く様子に目が行きがちですが、小さい花びらの中に織りなされる青のグラデーションも美しい花です。この花のように、一人一人が逞しく成長し、他者を許せる人になってくれれば…。名前を考えてくれた皆さんありがとうございました…



来週の予定

荒川土手の雑草が刈り取られ、草の背丈が低くなると現れるのが巨大なキノコ。傘の大きさは大きなもので20cmをこえる。見た目はマッシュルームみたい。食べられないんだろうなあ…



日	曜	学校行事等	持ち物・提出物
22	月	50×⑥ 専門委員会 定期考査 1週間前 スタディウィーク終了	白衣
23	火	秋分の日	
24	水	50×⑤ 部活動再登校 16時（大会前部活特別練習） 掃除なし	
25	木	50×⑥ 生徒会立会演説会リハ 牛乳パック回収	
26	金	50×⑥ 生徒会立会演説会 生徒会役員選挙 中央委員会	白衣持ち帰り

※ 来週には試験 1週間前を迎えます。先週紹介した2学期の目標にもあったように、今までの反省を活かさなければいけない。その為の計画表です。毎日提出するものではないけれど、自分が立てた計画にしっかり取り組むことが大切です。そして、自分に厳しい計画を立てられるかどうかがキーポイントでしょうか。

※ 来週末は生徒会役員選挙です。立候補者の声に耳を傾けて、真摯な気持ちで選挙に臨んでほしいと思います。

生徒会役員選挙立候補者

前述したように生徒会役員選挙が行われます。先日の朝礼では、選挙管理委員長から選挙に向き合う姿勢について説明がありました。学校行事など、様々な場面で活躍してくれる生徒会の改選です。13日（土）に行われた新入生保護者説明会でも、藤田先生と菅原が喋ることがなくなるくらい立派な松江五中の紹介プレゼンを行ってくれました。今まで学校をリードしてくれた生徒会の皆さんお疲れ様でした。先輩たちのように、立派な新生徒会を作り上げてほしいものです。また、応援演説を引き受けてくれた人たちも、全校生徒の前で話す機会はそう滅多にあるものではありません。その経験も大切にしてください。次ページには選挙活動も紹介します。

※敬称略



【立候補者】

副会長候補者

2組 黒木 佐南

3組 貝塚 来李

本部役員候補

2組 地子給 さくら

3組 松原 綾香

4組 酒井 友梨奈

【応援演説者】

2組 中村 環菜

2組 中村 貴陽

1組 樋口 文乃

2組 小坂 彩夏

4組 長塚 芽彩

裏面に続く

【選挙活動スケジュール】

①朝の挨拶運動→24日（水）～26日（金）8：05～8：20 松五広場にて候補者による挨拶

②昼の選挙放送 ※昼の放送時間に立候補者の演説が放送されます。

22日（月）放送予定	副会長候補者	黒木 佐南	貝塚 来李
25日（木） //	本部役員候補	松原 綾香	酒井 友梨奈
			地子給 さくら

お年寄りのつぶやき

暑さ寒さも彼岸までとはよく言ったもので、今週の半ばまでは暑かったものの、彼岸の入りを明日に向かえる週末には随分と涼しくなってきたものだ。お彼岸っていうのは仏教用語。秋分の日を真ん中として、前後3日間をさします。今年で言えば9月27日（土）～26日（金）がお彼岸。この期間にご先祖様を供養し、故人を偲ぶ期間となるわけで、墓参りに行く人も多いんじゃないだろうか。「なんでお墓参りいかなきゃいけないんだよ…」とか言っているそこの若者。ご先祖様がいなきゃ、あんたはこの世にいなかったのさ。せめて年に2回のお彼岸くらいは墓参り行っといで。悪いこと言わないから。ちなみに春のお彼岸は、春分の日を中日とした前後3日間ということになります。春分の日、秋分の日、太陽が真東から昇り真西に沈むため、仏教では極楽浄土に最も近い日とされていて、ご先祖様が極楽へ行けると考えられているそうです。お彼岸の意味、ここで初めて知ったって人いるでしょ（`ー´）ノ どうよ、ここのつぶやきも少しは役に立ったでしょ。そうとわかれば、墓参りも嫌がらずにお供え物もって墓掃除行ってらっしゃい。

そしてお彼岸のお供えと言えば『牡丹餅（ぼたもち）』と『御萩（おはぎ）』。なんとなく、あんこがついてるお餅と言えばイメージできる人も多いのでは。この二つの餅、基本的には同じ食べ物。しかし、季節、形、あんこの種類などによって呼び分けられることがあります。それぞれの名前に使われる漢字に花の名前が入っていることからわかるように、牡丹餅は牡丹の花が咲くころ（4～5月の晩春）にちなんだ名付けられ、春のお彼岸に供えられます。牡丹の花のように丸くて大きく作られ、あんこの原料の小豆の皮が硬くなる時期に作られるために『こしあん』で作られることが多い。これに対し御萩は、秋に咲く萩の花にちなんだ名付けられ秋分の日に供えられます。萩の花のように小ぶりで細長い俵型に作られることが多く、収穫したばかりの柔らかい小豆を使うため、『つぶあん』が使われることが多い。ちなみに夏にお供えする時は『夜船』、冬は『北窓』等と呼ばれるとのこと。これは自分も初めて知った（+_+）。ちなみにあんこの中身のお餅は、土地によって変わったりするようですが、もち米にうるち米（ふつうのお米）を混ぜて作るのが一般的です。意外と調べてみると面白いもんですね。そうめんと冷や麦の違いなんて言うの也有ります。クジラとイルカの違いは、体が4メートルを超えるような種族をクジラ、それ以下はイルカ…。大きさだけとか…。じゃあ、クジラも小さい時はイルカ？とか言わないように（_-メ）。鷹と鷲も同じです。どちらも猛禽類、ワシタカ目の仲間。体の大きい方を鷲（イーグル）、体の小さい方を鷹（ホーク）。基本的に同じ種族なら体が大きい方が強いのが自然の摂理。自然界では、鷲のほうが鷹より強いのは容易に想像できるところだけれど、プロ野球界ではそうもいきません。楽天イーグルスは、ダイエーホークスに歯が立ちません。なぜなら！プロ野球は自然ではないのですから…あしからず。

もうそろそろみんな気付いていると思うけれど、なんでこんなにつぶやき長いのかってこと。そうです、今週号はネタがありません。いつものことながら、ネタに困ると時事問題に逃げる癖が…。この前、4組の高野さんが、『先生、この前の学年通信つぶやき長かったですねー』って言ってたから、きっと読んでくれているのだろう。今回も長くてごめんなさい。今度感想聞かせてくださいな。先生は褒められて伸びるタイプです。冗談はさておき、最低気温も20度前半という日が近付いています。そろそろ衣替えの移行期間になると思うので、冬服の準備をしておいてくださいな。まあ、ここ数年は『もうすぐ11月とは思えないなあ…』という残暑に対する嘆きが繰り返されているので、ジャケットを着るのはもう少し先になるかもしれませんが、クリーニングに出しっぱなしにしているご家庭はありませんか？今年は猛暑で服の入れ替えを躊躇しているご家庭が多いのか、クリーニング店に預けっぱなしの衣類が多くて困っているなんてニュースを最近見ました。思い立ったら吉日。墓参りに行った帰りにクリーニング店に行ってみては如何でしょう（`ー´）ノ



pixta.jp - 32283171